

「消防感謝祭」第62回岐阜県消防操法大会

〈揖斐川町消防団(小島分団)が準優勝〉

8月4日(日)、真夏の太陽が照りつける晴天の下、可児市ふれあいパーク緑の丘で、「消防感謝祭」第62回岐阜県消防操法大会が開催され、揖斐郡の代表として揖斐川町消防団(小島分団)が出場し準優勝を獲りました。

大会には県内の42消防団から各地区の大会で選ばれた30隊180人が出場。今年は6人一組の「ポンプ車操法」で、的を倒すまでの時間や操作、規律の正確さを競いました。

応援に駆け付けた消防団員や家族らの声援を受けて、どの隊も訓練の成果を存分に発揮し、レベルの高い大会となりました。



- 大会の結果は次のとおりです。
- 優勝 恵那市消防団
 - 準優勝 揖斐川町消防団
 - 優秀賞 中津川市消防団
 - 優良賞 高山市消防団
 - 美濃加茂市消防団
 - 瑞穂市消防団
 - 土岐市消防団
 - 下呂市消防団
 - 神戸町消防団
 - 本巣市消防団



▲ポンプ車操法の様子



▲団員の結束で準優勝を獲得

第2回東アジアカップ女子ソフトボール大会

〈日本代表が連日好プレー〉

7月5日(金)から7日(日)までの3日間、女子ソフトボールの国際大会「第2回東アジアカップ女子ソフトボール大会」が開催されました。日本での開催は初めてのこの大会には、日本、中国、チャイニーズタイペイ、韓国と大学日本代表が出場し勝敗を競いました。初日の日本対中国では日本代表のエース上野由岐子投手が好投をみせ中国を2-1で下しました。

当初予定されていた4日(木)の試合が雨で中止になったため順位決定戦は行われませんでした。予選リーグの結果で順位が決定されました。日本代表は、攻守ともに安定したプレーで全勝し優勝をつかみました。

また、大学日本代表も日本代表からの1敗を守り健闘しました。



▲好投をみせる上野由岐子投手

東アジアカップ結果

順	チーム	日本	中国	C・タイペイ	韓国	大学日本	勝	負	得点	失点
1	日本	○2-1	○3-2	○7-0	○1-0	4	0	13	3	
2	中国	●1-2	○12-5	○5-0	●0-5	2	2	18	12	
3	C・タイペイ	●2-3	●5-12	○9-0	●6-12	1	3	22	27	
4	韓国	●0-7	●0-5	●0-9	●0-7	0	4	0	28	
※	大学日本	●0-1	○5-0	○12-6	○7-0	3	1	24	7	

※日本は2チームのうち、上位チームのみを最終決定順位とします

個人表彰

最優秀選手	日本	上野 由岐子 (うえの ゆきこ)
最優秀投手	大学日本	泉 礼花 (いづみ めいか)
最優秀打者	中国	李 欢 (リ・ファン)
優秀選手	中国	投手 王 兰 (ワン・ラン)
	C・タイペイ	投手 鍾 碧琳 (チュン・ファイリン)
	韓国	投手 노 승선 (ノ・ウンラン)
	日本	捕手 峰 幸代 (みね ゆきよ)
大学日本代表	外野手	塚本 智名 (つかもと ちな)



▲応援も白熱しました



▲日本代表対中国戦の様子



▲叙勲の伝達が行われました

5月14日(火)に亡くなられた山本弘司さん(谷汲岐礼)が旭日単光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

山本さんは、平成元年9月から平成13年8月までの永きにわたり旧谷汲村議会議員として在職され、村の基幹産業である農林業の振興を図り、福祉施設等の整備にも多大な貢献をされました。

特に平成9年9月から平成10年8月までと平成12年9月から平成13年8月までの2年間は、副議長として議会の円滑な運営に尽力されました。これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。

叙勲(旭日単光章)受章



▲認定証を受けとる児童

7月9日(火)、揖斐川町役場で小学生県外研修派遣事業の認定証交付式が行われました。

今年度の研修に参加する児童は、町内小学生20人で、研修先は、友好都市提携を結んでいる北海道芽室町と地域に開かれたダム全国連絡協議会などで交流を深めている高知県宿毛市です。

児童らは、北海道の大規模農業や高知県の漁業などを体験して、現地の人々と交流し見聞を深めます。

派遣団の児童は、「農家の生活を知り良さを学びたい」「自分の町との違いを見つけない」と抱負を述べました。

派遣団は、8月23日(金)から27日(火)の日程で研修を行います。

小学生県外研修派遣認定式

〈農業体験・漁業体験で交流〉



▲ラジオ体操を学ぶ参加者

7月9日(火)、揖斐川健康広場でラジオ体操講習会が開かれました。町青少年育成町民会議の取り組みの一つにもなっている夏休みのラジオ体操、この日は、NHKテレビ・ラジオの体操指導者 西川佳克さんと元アシスタントの大橋美加さんを講師に迎えてラジオ体操の基礎を学びました。

この講習には子どもから大人までの130人の参加があり熱心に体の動きを確認しながら動作を学びました。普段、何気なく行っている人も多いラジオ体操ですが、それぞれの動きに役割があり、的確に動かすことで効果が得られるようです。

ラジオ体操講習会

〈基礎を学んで健康づくり〉



▲交通安全を呼び掛ける参加者

7月12日(金)、夏の交通安全県民運動(7月11日~20日)に合わせて交通安全街頭啓発が行われました。町の交通安全対策協議会や交通安全女性、交通安全協会のメンバーが交通安全啓発グッズをドライバーに配布して、交通安全を呼びかけました。

13日(土)には、二輪車の愛好者等によるライダーパレードが行われ二輪車など30台が模範運転で事故防止を呼びかけました。

また、今年は揖斐郡内で死亡事故が3件(7月末時点)発生しており揖斐警察署による取り締まりの強化も行われています。

夏の交通安全県民運動街頭啓発

〈交通事故ゼロを目指して〉

高齢者の交通安全を啓発

〈園児のぬりえで事故ゼロ〉

7月19日(金)、夏の交通安全県民運動の一環として、たにぐみ幼児園の園児が地域の介護老人福祉施設「ハートビレッジ谷汲の杜」を訪れ入所者に交通安全を呼びかける「交通安全啓発のぬりえ」を手渡しました。ぬりえには、「おうたんほどうをわたろう」「やこうタスキをつけよう」などのメッセージとイラストが描かれており園児らが各々に着色して交通安全の思いを伝えました。

園児の心のこもったぬりえを受けた入所者は、「ありがとう。気を付けるね」と笑顔で答えていました。また、この日は、町のマスコットの河太郎も啓発に訪れ人気を集めていました。



▲ぬりえを手渡しました

夜叉ヶ池伝説道中まつり

〈伝説の龍神が舞う〉

夜叉ヶ池伝説道中まつりが、7月27日(土)遊らんど坂内特設会場で行われ、家族連れなど、約2000人が訪れました。

このまつりは、約1300年前から伝わる夜叉ヶ池伝説を再現する創作音楽劇をメインイベントとして、ステージでは、長浜市木之元町のよさこいソーラン、ジャズライブ、太鼓演奏などが行われ、来場者を楽しませていました。

夜叉ヶ池伝説は、美濃の国神戸(現在の神戸町)の郡司が、恵みの雨の返礼に娘を夜叉ヶ池にすむ龍神に嫁がせたという話です。創作音楽劇には、坂内小中学校の児童生徒や地元住民ら総勢40人が出演し、夏の夜に幻想的な伝説が蘇りました。



▲創作音楽劇での龍神と夜叉姫

夜叉ヶ池伝説マラニック

〈13.5kmを踏破〉

7月27日(土)と28日(日)の2日間をかけて、夜叉姫ゆかりの神戸町から坂内の夜叉ヶ池までを往復する「夜叉ヶ池マラニック」が開催されました。コース延長が13.5kmという過酷を極めたこの大会には今年も全国から300人を超える参加者がありました。初日の27日は、神戸町役場をスタートして揖斐川沿線を走り坂内の道中まつりの会場を目指しました。

二日目は、早朝に坂内交流センターを出発して夜叉ヶ池までの山道を駆け登り、折り返して神戸町役場を目指しました。真夏日となった両日でしたが、強靱な参加者らは颯爽と揖斐川を駆け抜けました。



▲坂内を目指すランナー (藤橋地域)

セフティネットいびがわが観光ルートアクセス道路を除草

7月27日(土)、町内の建設業などで組織するセフティネットいびがわが、町内の観光ルートアクセス道路の除草ボランティアを行いました。

ボランティアに参加したのは、町内の建設、電気、水道業者など60社、総勢65人です。

この日は、東ノ山トンネルから井ノ口橋までの沿道や谷汲の岩坂トンネルの周辺、さざれ石公園など町の観光ルートの除草作業を行いました。

セフティネットいびがわの久保田一成会長は「帰省など来訪者が増えるお盆前に除草をしてきれいな町を見てもらいたい」と話しました。



▲広域農道を除草する参加者



▲芽室町の児童と交流を深めました

揖斐川町と友好都市提携を結んでいる北海道芽室町の小学生7名が、7月29日(月)から8月1日(木)にかけて町を訪れ、研修を行いました。7月30日(火)には、桂茶生産組合のお茶畑でのお茶摘みを行ったり、老舗の染物店(桑名屋)で染物に挑戦するなど芽室町にはない揖斐川ならではの体験をしました。

7月31日(水)には、谷汲小学校の6年生の児童と交流をしました。

谷汲小学校では、お互いの町や学校の特色を発表したり谷汲小学校の児童らが谷汲踊を披露して芽室町の児童らもシナイや太鼓を着けて踊りに挑戦しました。

北海道芽室町と学校間交流

〜互いに知り合い深まる友情〜



▲品評会の様子

8月1日(木)久瀬公民館で、久瀬花き生産組合主催による「第14回久瀬花き品評会」が開催されました。小菊52点、しきみ28点が出品され、色や形、つや、商品性などを基準に審査をしました。

岐阜県知事特別賞は、小菊を出品された、高橋仁王次さんが受賞されました。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

■切花の部 (小菊)

金賞 (町長賞) 山本 友之さん
銀賞 (岐阜生花市場協同組合理事長賞) 村瀬 佐一さん
銅賞 (いび川農業協同組合長賞) 長屋 薫さん
長屋 長志さん

奨励賞 長屋 建志さん

■枝物の部 (しきみ)

金賞 (議長賞) 高橋 努さん
銀賞 (揖斐農林事務所長賞) 鳥井 平二さん
銅賞 (久瀬花き生産組合長賞) 高橋せつ子さん
高橋 時江さん

奨励賞 高橋 時江さん

第14回久瀬花き品評会開催

いびがわの祭り開催

〜6500発の花火が夜空を彩る〜

8月4日(日)、いびがわの祭りありがとう花火が揖斐川河畔、揖斐川町役場から前島橋を中心に開催され、多くの人で賑わいました。

揖斐川の水の恵みに感謝するこの花火大会では、願いを込めたメッセージシールを花火玉に貼って打ち上げます。

今年約6500発が打ち上げられ、訪れた人を魅了していました。また恒例となっている「民踊流しおどり」や役場駐車場で開かれた「屋台村」などの催しもあり人気を集めていました。通りは祭りを楽しむ浴衣姿の来場者があふれ、夏の夜の情緒を醸していました。



▲6,500発の花火が夜空を彩りました



▲大盛況の屋台村